



## 第 33 回ミラノウニカ

2021.07.06

和版(要約)

### 第 33 回ミラノウニカ:再スタートに向け270社が結集

ミラノ、2021年7月6日 - 本日フィエラミラノ・ローに於いて第33回ミラノウニカが開幕しました。

出展者数は270社(2020年9月展比: +27%); 224社がイタリア企業、46社が海外からの参加となり、メンズ・レディス・子供服用ハイエンド向けテキスタイル・服飾付属品の2022/23年秋冬コレクションが発表されました。イタリアの主要テキスタイル産地からの出展者は重要であり、各地からの出展者数に増加がみられました: プラート(34)、ピエラ及びヴェルチェッリ(31)、コモ(30)、ヴァレーゼ(24)、ベルガモ(17)、ミラノ(15)、モデナ(13)、又海外からは主にポルトガル(12)、フランス(7)、イギリス(7)の参加となりました。

オープニング・セレモニーにはミラノウニカ会長; アレッサンドロ・バルベリス・カニコ氏、ベイン・アンド・カンパニー(Bain & Company)のパートナー; クラウディア・ダルピツィオ氏、イタリア・ファッション国立会議所 会頭; カルロ・カパサ氏、システム・モーダ・イタリア会長; マリーノ・ヴァーゴ氏、イタリア産業総連盟の代表; レンゾ・ロツソ氏、イタリア経済開発相; ジャンカルロ・ジョルジェッティ氏が参列しました。

開催式典にてミラノウニカ会長はイタリア製品の製造回復をサポートしていくためにテキスタイル・ファッションアパレルのサプライ・チェーンを総合的に保護していくことは重要であると述べ、その意味において伊経済開発相; ジャンカルロ・ジョルジェッティ氏に、この式典への出席と政府の対策・援助に対して深く感謝の意を表しました。

「今回のフィジカル展は、国際市場の実質的な停滞を含め一年以上経っても今尚続く困難な状況にある業界全体に対して自信というメッセージを伝える特に重要な回になったと思います。このパンデミックが起こる前は60%のバイヤーは海外から訪れていました。しかしながら、出展者は渡航規制(特に中国、アメリカ、イギリスから)による問題にも拘わらず落胆することなく、結集し参加を遂げました。実際このパンデミック中も多くの企業は栄光に満足せず創造性とサステナビリティの両面での素材開発に投資し続けてきました。これらの素材は出展者ブースの中だけでなく今回第33回ミラノウニカのトレンドエリアにて見て触ることができます。素材に実際に触れることは素材を良く理解する上で根本的に必要なことであり、展示会の本当の付加価値を意味します。デジタル・テクノロジーは確かに素材や製品のスタイルや美学を表すための助けにはなりますが素材の本質的な要素である素材自体の型を再現することにはできないと思います。」

ICE 会長のカルロ・フェッロ氏は「今年後半に再開するフィジカルショーの一つであるミラノウニカはワクチン・キャンペーンの成果によりこの国の回復に向け強いシグナルを送ることができた。」と述べ、「我が国における全てのシステムにおいて新状況に新たな対策を講じ順応する優れた能力を証明してみせた。従って我々は業界に対し更なるサポートを提供する意向である。なぜならばポスト・パンデミックにおいては今迄と違い、海外市場での挑戦には新しく迅速且つ有効な戦略が求められるからだ。主催者の皆様、そして出展者の皆様のご健闘を祈ります！」とコメントしました。

そして今迄以上にフィジカルとデジタルの二つの世界が結合し業界の新たな未来を形成していきます。ミラノウニカはピッテイ・イマジネとの協業強化及び ICE から多くなるサポートによりデジタル・マーケットプレイス; e-MilanoUnica Connect を更に進化させ業界のニーズに応えます。

主な機能としては出展者が違うアクセス・レベルにおいてバーチャル・ショールーム・システムを利用できることです。バイヤーはカタログの専用セクションで出展者にアクセス可能かを確認でき、製品を閲覧し興味のある製品を保存しサンプルをリクエストすることができるため、国際間のビジネスを強化することができます。

「昨年の 9 月同様、我々はフィエラミラノと密接に協力しあらゆる衛生対策を講じ、できる限り安全なフィジカル展開を目指し真剣に取り組んで参りました。世界的なパンデミックによる不確実な状況にも拘わらずミラノウニカはこのような困難な状況下であるからこそバイヤーを落胆させることなく、出展者、来場者の両者にとって重要なイベントであることを立証するでしょう。尚今回のイベント開催成功に向けこのような状況下においても従来の経済支援と必要なサポートを提供し続けて下さった伊・外務国際協力省及び ICE に対し感謝の意を表します。」とミラノウニカ・ジェネラル・ディレクター: マッシモ・モッジエッロ氏がコメントしました。

ミラノウニカは伊・外務国際協力省、ICE、システム・モーダ・イタリア、ミラノ市の継続的な後援に対し又セツラ銀行による協力、ラウレターナのスポンサーシップに対してもお礼申し上げます。

**<詳細> Milano Unica Press Office Tel. +39 02 6610 1105**

**Alessandra Ardenzi (M: +39. 335.677.46.20)**

**Daniela Scardi (M: +39 3661964979)**

**Sergio Vicario (Metafora) – (M: +39 348 9895170)**